

# 消 防 年 報

平成26年版



巨理地区行政事務組合消防本部



# は し が き

平成26年中における巨理地区行政事務組合消防本部の消防業務及び消防現状を収録し、将来の消防体制強化と火災予防上の資料として有効に活用するため編集したものです。

この年報が防災上の指針となり、消防行政への理解と関心を深めていただければ幸いに存じます。

平成27年3月

巨理地区行政事務組合消防本部

# 目 次

## 消防概要

1	巨理郡の概要	1
2	宮城県における巨理郡の位置	2
3	巨理地区行政事務組合消防本部管内図	2
4	巨理地区行政事務組合消防本部・署所の所在地	3
5	町別面積・世帯数・人口調べ	4
6	巨理地区行政事務組合管内の推移	4
7	消防庁舎の現況	4
8	巨理地区行政事務組合消防本部沿革	5
9	歴代消防長	9
10	歴代署長	11

## 総 務

1	平成26年度消防予算（当初）	12
2	巨理地区行政事務組合消防本部機構図	13
3	消防本部・署事務分掌	14
4	消防職員配置状況	16
5	階級別勤務年数	16
6	階級別年齢表	16
7	職員の資格取得状況	17
8	消防用車両の保有状況	18
9	消防力の整備指針と現有消防力	19
10	消防用車両の配備状況	19
11	管内消防団の組織	20
12	消防団の車両・人員配備状況	20
13	管内の消防水利状況	21

## 警 防

1	火災概要	22
2	町別の火災発生状況	23
3	月別の火災発生状況	24
4	曜日別の火災発生状況	24
5	時間別の火災発生状況	25

6	火元建物の用途別火災発生状況	25
7	気象別の火災発生状況	26
8	原因別の火災発生件数・損害状況	26
9	過去5年間の出火原因の推移	27
10	過去10年間における火災発生件数・損害額の比較	27
11	初期消火状況	28
12	災害出動状況	28
13	救急概要	29
14	救急出動件数・搬送人員	30
15	過去10年間における救急出動件数の推移	30
16	月別の出動件数	31
17	過去5年間における年齢別の搬送人員	31
18	時間帯別の出動件数	31
19	事故種別・傷病程度別の搬送人員	32
20	現場到着所要時間別の出動件数	33
21	地区別の出動件数	33
22	地域別医療機関への搬送人員	33
23	救急隊員が行った応急処置の状況	34
24	救助概要	35
25	救助活動状況	36
26	救助出動件数の推移	36
27	救出所要時間	37
28	事故種別による傷病程度	37
29	警防及び救助資機材の現有状況	38
30	通信施設の概要	40
31	通信施設系統図	41
32	通信関連施設・設備一覧表	42
33	無線局一覧表	43
34	災害等の覚知状況	44
予 防		
1	予防概要	45
2	各種団体訓練指導状況	45
3	巡回広報・広報紙発行状況	45
4	町別の防火対象物数	46
5	中高層建築物の現況	47

6	防火管理者選任状況	48
7	防火対象物査察実施件数	49
8	危険物事務取扱状況	50
9	危険物施設貯蔵取扱数量状況	50
10	町別の危険物施設設置状況	51
11	危険物施設立入検査実施件数	51
12	液化石油ガス販売施設状況	51
13	月別の建築確認申請処理状況	51
14	年別の建築確認申請処理状況	52
15	町別の建築同意件数	52
16	各種届出処理状況	52
17	幼年消防クラブ加入状況	53
18	婦人防火クラブ加入状況	53
19	巨理地区防災安全協会設置状況	53

## <消防概要>

### 1 亶理郡の概要

当管内は、宮城県の南端に位置し、亶理町・山元町の2町で構成され、政令指定都市「仙台市」から南へ約30kmの距離にある。

管内の東部は、太平洋に面している。北部は、阿武隈川を狭み岩沼市に隣接、西部から北西部にかけては、角田市・丸森町に隣接している。南部は、福島県新地町と県境を接している。

交通は、南北に国道6号・JR常磐線が走り、更に仙台東部道路・常磐自動車道が通り、広域交通網が整備される。

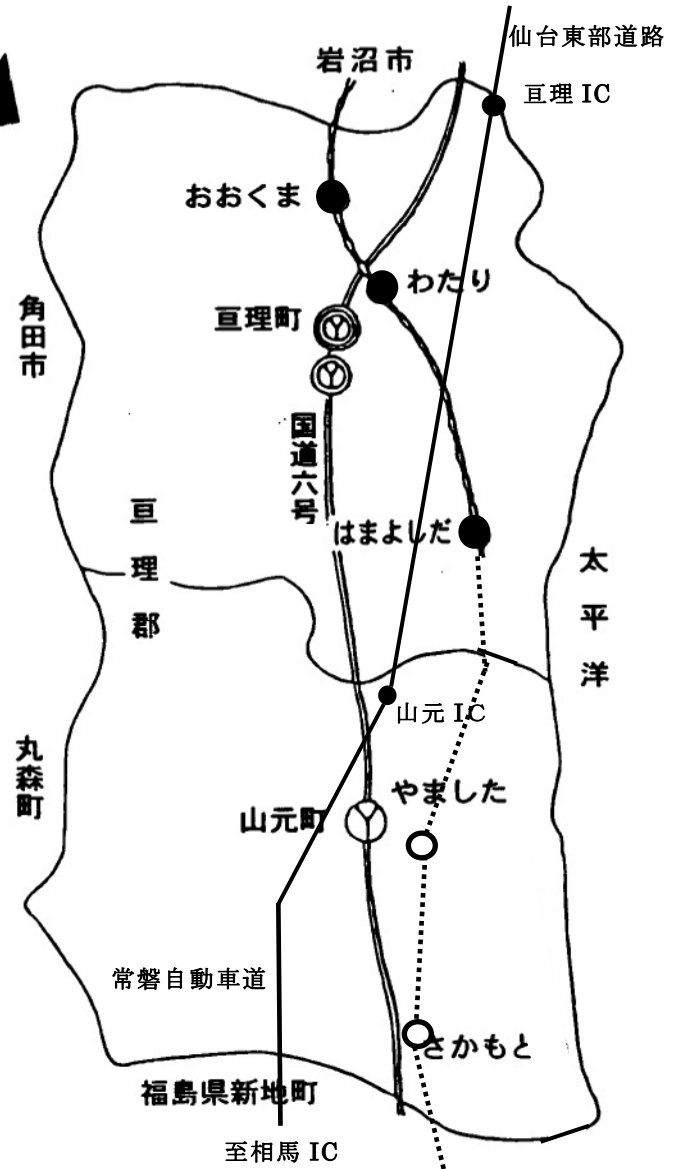
地勢は、西に阿武隈高地の一端である丘陵地が南北に走っており、国道6号を境にして東に平地が広がり緑豊かな田園都市を形成している。

気候は、「東北の湘南」と言われるほど温暖で、その特性を生かし全国有数のイチゴ生産地として知られている。

## 2 宮城県における亶理郡の位置



## 3 亶理地区行政事務組合消防本部管内図



..... 開通予定路線

• 平成 23 年 3 月 11 日の津波により、  
JR 浜吉田駅～坂元駅間は、平成 27 年  
3 月 31 日現在において不通状態です。



#### 4 巨理地区行政事務組合消防本部・署所の所在地

##### 消 防 本 部 ・ 巨 理 消 防 署



署 所 名	所 在 地	電 話 番 号	郵便番号
巨理地区行政事務組合 消防本部	巨理町字祝田 34番地2	TEL0223(34)1155 1156 FAX0223(34)7758	989-2351
巨理消防署	同 上	TEL 同 上 FAX 同 上	同 上

##### 巨理消防署山元分署



巨理消防署 山元分署	山元町山寺字石田 10番地1	TEL0223(37)1185 1186 FAX0223(37)1186	989-2201
---------------	-------------------	--	----------

## 5 町別面積・世帯数・人口調べ

(平成26年12月31日現在)

区分 町別	面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数 (世帯)	人口 (人)		
			男	女	計
巨理町	73.21	11,742	16,702	17,468	34,170
山元町	64.48	4,547	6,311	6,502	12,813
合計	137.69	16,289	23,013	23,970	46,983

## 6 巨理地区行政事務組合管内の推移

(人口・世帯数は各年12月31日現在)

区分	昭和46年	昭和59年	平成6年	平成16年	平成26年
人口	40,467	47,620	52,025	53,885	46,983
世帯数	8,460	11,248	13,655	16,139	16,289

## 7 消防庁舎の現況

署所名	所在地	敷地面積	延床面積	構造	竣工年月日
消防本部・ 巨理消防署	巨理町字祝田 34番地2	1,277m <sup>2</sup>	1,045m <sup>2</sup>	鉄筋コンク リート2階建	昭和46年 3月31日
巨理消防署 山元分署	山元町山寺字 石田10番地1	2,390m <sup>2</sup>	426m <sup>2</sup>	鉄筋コンク リート2階建	昭和46年 3月31日

## 8 巨理地区行政事務組合消防本部沿革

年 月 日	内 容
昭和45. 4. 1	巨理地区消防事務組合設置
4. 17	政令指定を受ける
8. 1	消防本部設置
10. 1	職員16名採用
昭和46. 2. 16	指令車を巨理消防本部に配置
3. 4	救急車を巨理消防署に配置
3. 29	普通消防ポンプ自動車2台を巨理消防署・山元分署に配置
3. 31	巨理消防署・山元分署庁舎落成
4. 1	巨理消防署設置(業務開始)
	職員26名採用(巨理・山元両町より派遣職員5名)
10. 18	普通消防ポンプ自動車を巨理消防署に配置
昭和47. 8. 19	岩沼市消防本部と消防相互応援協定を締結する
昭和49. 1. 1	相馬地方広域消防本部と消防相互応援協定を締結する
4. 1	職員3名採用
昭和50. 4. 1	職員4名採用
9. 11	救急車を更新(日本船舶振興会より寄贈)し巨理消防署に配置
昭和51. 7. 23	仙南地域広域消防本部と消防相互応援協定を締結する
8. 31	指令車を更新し巨理消防本部に配置
11. 29	連絡車2台を巨理消防署・山元分署に配置
昭和52. 4. 1	職員3名採用
6. 15	巨理消防署救助訓練塔完成
昭和53. 5. 27	指令車を更新(巨理ロータリークラブより寄贈)し巨理消防本部に配置
昭和54. 1. 18	組立式A・B・C救助訓練塔完成
1. 25	通信指令室完成
4. 1	職員3名採用
5. 18	一斉通信指令装置配備
9. 14	救急車を更新(日本船舶振興会より寄贈)し巨理消防署に配置
10. 18	水槽付消防ポンプ自動車(2,000ℓ)を巨理消防署に配置
11. 1	山元分署に救急車配置・救急業務開始
昭和56. 4. 1	職員4名採用
4. 30	普通消防ポンプ自動車を更新(日本損害保険協会より寄贈)し山元分署に配置
昭和57. 1. 1	職員1名採用
昭和58. 3. 15	救急車を更新し山元分署に配置
11. 9	巨理地区婦人防火クラブ連合会に財団法人日本防火協会より防火広報車の寄贈を受ける

年 月 日	内 容
昭和59. 5. 25	普通消防ポンプ自動車を更新し巨理消防署に配置
7. 13	宮城県防災消防無線局開局
12. 27	査察車を有限会社オリエンタル電子より寄贈を受ける
昭和60. 3. 31	ファクシミリ設置(防災施設事業)
8. 27	救急車を更新(日本船舶振興会より寄贈)し巨理消防署に配置
10. 9	巨理消防署事務室・車庫の増改築
昭和61. 3. 12	巨理消防署救助訓練塔移設
4. 1	職員2名採用
4. 2	指令車を更新し巨理消防本部に配置
昭和62. 6.	査察車を更新し山元分署に配置
昭和63. 1.	連絡車を更新し巨理消防署に配置
3. 28	山元分署倉庫新築
3. 31	救急専用無線電話装置設置
4. 1	職員4名採用
平成元年 3. 2	救急車を更新(全国共済農業協同組合連合会宮城県本部より寄贈)し巨理消防署に配置
平成 2. 2. 2	消防緊急情報システム設置
10. 2	普通消防ポンプ自動車を更新(日本損害保険協会より寄贈)し山元分署に配置
平成 3. 3. 11	査察車を更新し巨理消防署に配置
4. 1	複合化計画により巨理地区行政事務組合と改称
平成 4. 4. 1	職員1名採用
平成 5. 4. 1	職員5名採用
平成 6. 2. 18	水槽付消防ポンプ自動車(2,500ℓ)を更新し巨理消防署に配置
3. 2	救急車を更新(全国共済農業協同組合連合会宮城県本部より寄贈)し巨理消防署に配置
4. 1	職員3名採用
7. 1	職員2名採用
平成 7. 6. 15	巨理地区婦人防火クラブ連合会に財団法人日本防火協会より防火広報車の寄贈を受ける
平成 8. 3. 31	普通消防ポンプ自動車を更新し巨理消防署に配置
4. 1	職員3名採用
12. 1	職員1名採用
12. 28	救急車を更新(全国共済農業協同組合連合会宮城県本部より寄贈)し山元分署に配置。
平成 9. 3. 26	高規格救急車(日本損害保険協会より寄贈)を巨理消防署に配置
5. 6	救急救命士1名資格取得
5. 21	連絡車を更新し山元分署に配置
11. 20	救急救命士1名資格取得 計2名
平成10. 3. 24	救助工作車Ⅱ型を巨理消防署に配置
4. 1	職員1名採用

年 月 日	内 容
平成10. 5. 8	救急救命士1名資格取得 計3名
5. 20	指令車を更新し巨理消防本部に配置
11. 9	救急救命士1名資格取得 計4名
平成11. 3. 26	水槽付消防ポンプ自動車(1,500ℓ)を山元分署に配置
6. 2	査察車を更新し巨理消防署に配置
11. 15	救急救命士1名資格取得 計5名
平成12. 7. 28	資機材搬送車を更新し巨理消防署に配置
11. 9	救急救命士1名資格取得 計6名
平成13. 9. 18	連絡車を更新し巨理消防署に配置
11. 29	救急救命士1名資格取得 計7名
平成14. 2. 22	2B型救急車を更新し高規格救急車を山元分署に配置
4. 1	職員2名採用
11. 15	救急救命士1名資格取得 計8名
平成15. 3. 25	消防ポンプ自動車を更新し山元分署に配置
5. 7	救急救命士1名資格取得 計9名
11. 10	救急救命士1名資格取得 計10名
平成16. 4. 1	職員5名採用
11. 10	救急救命士1名資格取得 計11名
平成17. 3. 12	高規格救急車を更新し巨理消防署に配置
4. 1	職員3名採用
4. 22	救急救命士1名資格取得 計12名
11. 11	救急救命士1名資格取得 計13名
平成18. 4. 1	職員4名採用
平成19. 4. 1	職員3名採用
4. 24	救急救命士1名資格取得 計14名
平成20. 4. 1	職員2名採用
4. 17	救急救命士1名資格取得 計15名
11. 2	高規格救急車を更新し山元分署に配置
平成21. 4. 1	職員3名採用
4. 20	救急救命士1名資格取得 計16名
平成22. 4. 1	職員5名採用
平成23. 2. 10	水槽付消防ポンプ自動車を更新し、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を巨理消防署に配置
3. 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午後2時46分三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の東日本大震災が発生し管内は震度6強を観測、大津波により沿岸部は壊滅的な被害を受けた</li> <li>・緊急消防援助隊受援状況 3月12日から4月23日までの延べ43日間に巨り、愛知県隊、兵庫県隊、奈良県隊、福岡県隊から受援(延べ1,115隊、4,033人)</li> <li>・宮城県広域消防応援状況 3月11日から4月22日まで仙南地域広域行政事務組合消防本部から受援(延べ43隊、147人)</li> </ul>

年 月 日	内 容
平成23. 4. 1	職員4名採用
4. 15	全国消防長会を通じて、さいたま市消防局から水槽付消防ポンプ自動車1台、東京消防庁から指揮隊車1台を無償譲渡され、巨理消防署に配置
4. 21	神戸市消防局から小型動力ポンプ付水槽車1台を無償譲渡され、巨理消防署に配置
10. 1	トヨタ自動車株式会社から乗用車1台を寄贈され、巨理地区行政事務組合に配置
平成24. 2. 14	台湾の鄭水竹 <sup>ツェンスイツフ</sup> 氏から救急車1台の購入費用寄付受納し、高規格救急車を更新、巨理消防署に配置
4. 1	職員3名採用
9. 26	防火広報車を更新し巨理消防署に配置
平成25. 3. 1	高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線の運用開始
3. 7	救急車を更新(全国共済農業協同組合連合会宮城県本部より寄贈)し山元分署に配置
3. 12	指揮車を更新(株式会社パトライト社より寄贈)し山元分署に配置
4. 1	職員6名採用
4. 8	救急救命士2名資格取得 現在数17名
平成26. 2. 26	消防ポンプ自動車を更新し巨理消防署に配置
4. 1	職員2名採用
4. 23	救急救命士1名資格取得 現在数17名

## 9 歴代消防長

歴代	階級	名前	在職期間
初代	管理者 亘理町長	武田伸郎	昭和46年4月1日～ 昭和48年1月12日
二代	管理者 亘理町長	山形勝治	昭和48年1月13日～ 昭和53年3月31日
三代	管理者 山元町長	引地好男	昭和53年4月1日～ 昭和54年2月19日
四代	管理者 亘理町長	深田伊三郎	昭和54年2月20日～ 昭和57年3月31日
五代	消防監	末木清志	昭和57年4月1日～ 昭和59年3月31日
六代	亘理町助役	伊藤敏雄	昭和59年4月1日～ 昭和61年6月30日
七代	消防正監	岡本利美	昭和61年7月1日～ 昭和62年3月31日
八代	管理者 亘理町長	伊藤敏雄	昭和62年4月1日～ 平成元年3月31日
九代	消防監 事務局長	三品直	平成元年4月1日～ 平成4年3月31日
十代	消防監 事務局長	尾形昇	平成4年4月1日～ 平成6年3月31日
十一代	消防監	横山登美夫	平成6年4月1日～ 平成8年3月31日
十二代	消防監 事務局長	日下幸悦	平成8年4月1日～ 平成10年3月31日
十三代	消防監	三島康英	平成10年4月1日～ 平成12年12月31日
十四代	事務局長	馬場正則	平成12年1月1日～ 平成12年3月31日
十五代	消防監	遠藤昇一	平成12年4月1日～ 平成14年3月31日
十六代	消防監	阿部久男	平成14年4月1日～ 平成16年3月31日
十七代	消防監	渡邊毅	平成16年4月1日～ 平成18年3月31日
十八代	消防監	菊地正光	平成18年4月1日～ 平成20年3月31日

## 歴代消防長

歴代	階級	名前	在職期間
十九代	消防監	齋藤信夫	平成20年4月1日～ 平成21年3月31日
二十代	司令長	加藤利郎	平成21年4月1日～ 平成22年3月31日
二十一代	司令長	星敏夫	平成22年4月1日～ 平成23年9月30日
二十二代	司令長	鈴木真	平成23年10月1日～ 平成25年3月31日
二十三代	司令長	菊地英夫	平成25年4月1日～ 現在に至る



## 10 歴代署長

歴代	階級	名前	在職期間
初代	司令長	穴戸栄一	昭和46年4月1日～ 昭和46年9月19日
二代	司令長	大杉武雄	昭和46年9月20日～ 昭和49年3月31日
三代	司令長	高野清雄	昭和49年4月1日～ 昭和51年3月31日
四代	司令長	齋藤辰男	昭和51年2月20日～ 昭和58年3月31日
五代	消防監	末木清志	昭和58年4月1日～ 昭和59年3月31日
六代	司令長	岡本利美	昭和59年4月1日～ 昭和62年3月31日
七代	司令長	横山登美夫	昭和62年4月1日～ 平成6年3月31日
八代	司令長	三島康英	平成6年4月1日～ 平成8年3月31日
九代	司令長	阿部久男	平成8年4月1日～ 平成13年3月31日
十代	司令長	渡邊毅	平成13年4月1日～ 平成14年3月31日
十一代	司令長	菊地正光	平成14年4月1日～ 平成16年3月31日
十二代	司令長	岩佐久男	平成16年4月1日～ 平成18年3月31日
十三代	司令長	齋藤信夫	平成18年4月1日～ 平成20年3月31日
十四代	司令長	加藤利郎	平成20年4月1日～ 平成21年3月31日
十五代	司令長	星敏夫	平成21年4月1日～ 平成22年3月31日
十六代	司令	山本良一	平成22年4月1日～ 平成24年3月31日
十七代	司令	菊地英夫	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日
十八代	司令	渡部寿則	平成25年4月1日～ 現在に至る

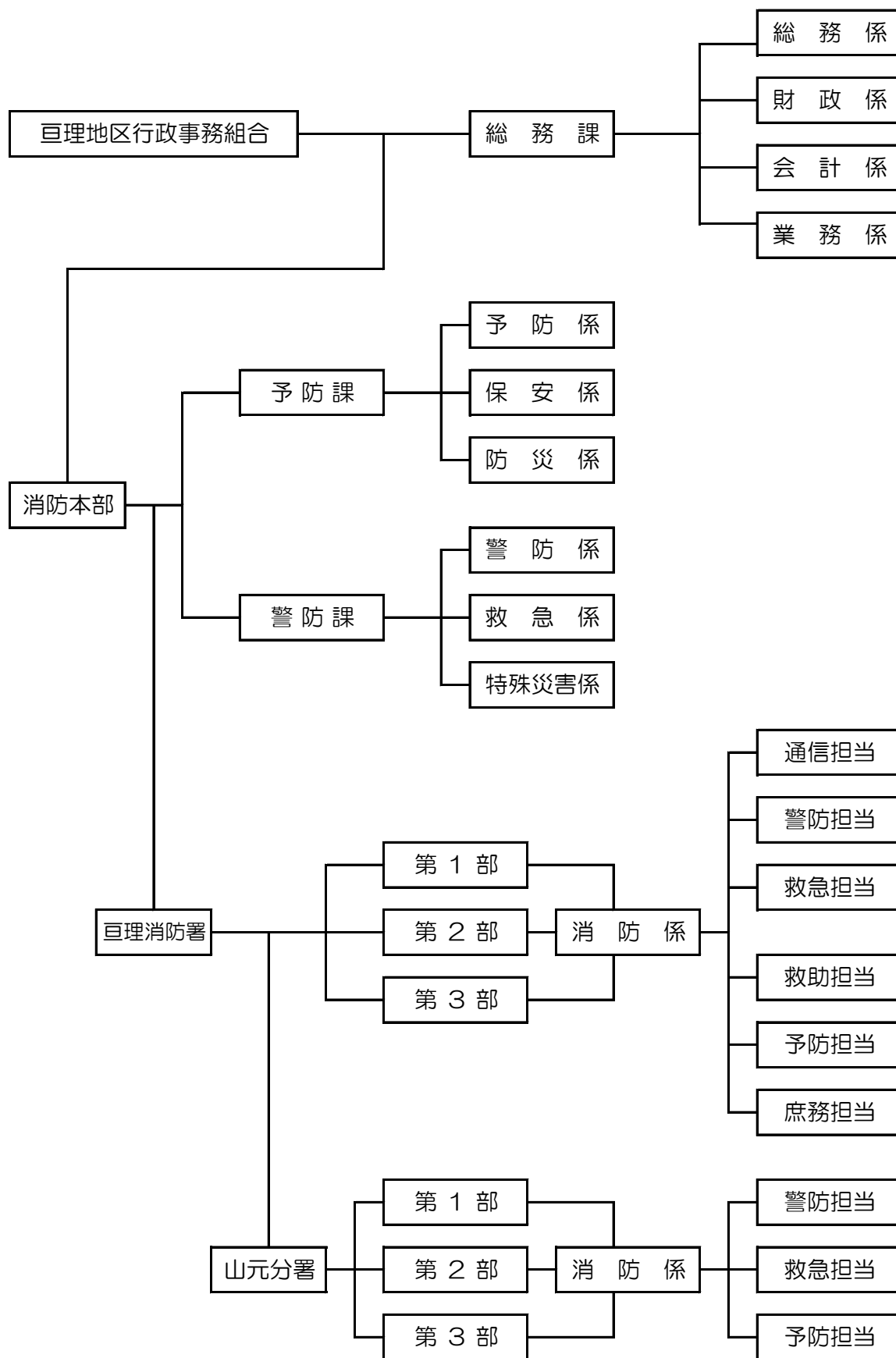
## < 総 務 >

### 1 平成26年度消防予算（当初）

（単位：千円）

	当 初 予 算 額		比較増(△)減
	平成26年度	平成25年度	
消 防 費	539,455	564,089	△ 24,634
給 料	220,254	216,912	3,342
職 員 手 当	145,102	136,879	8,223
共 済 費	71,019	70,927	92
報 償 費	168	168	0
旅 費	1,799	2,338	△ 539
交 際 費	10	10	0
需 用 費	24,330	26,363	△ 2,033
役 務 費	9,527	10,449	△ 922
委 託 料	1,980	2,588	△ 608
使用料及び賃借料	1,790	1,714	76
工 事 請 負 費			0
原 材 料 費	417	262	155
備 品 購 入 費	6,683	37,913	△ 31,230
負担金, 補助及び交付金	56,044	56,672	△ 628
償還金, 利子及び割引料	7	335	△ 328
公 課 費	325	559	△ 234

## 2 巨理地区行政事務組合消防本部機構図



### 3 消防本部・署事務分掌

#### 消防本部事務分掌

##### 予 防 課

- (1) 予防課文書の收受発送及び保管管理に関すること。
- (2) 危険物貯蔵所等の許認可に関すること。
- (3) 危険物による災害の予防対策に関すること。
- (4) 危険物取扱者の指導に関すること。
- (5) 危険物の規制指導に関すること。
- (6) 建築確認の同意に関すること。
- (7) 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- (8) 防火管理者及び自衛消防の事務に関すること。
- (9) 婦人防火クラブ、幼年消防クラブ及び自主防災組織等の育成指導に関すること。
- (10) 消防相談に関すること。
- (11) 火災予防普及及び広報に関すること。
- (12) 違反処理及びその指導に関すること。
- (13) 巨理地区防災安全協会に関すること。
- (14) 火災予防対策の樹立に関すること。
- (15) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく事務に関すること。
- (16) 火薬取締法に基づく事務に関すること。

##### 警 防 課

- (1) 警防課文書の收受発送及び保管管理に関すること。
- (2) 火災統計等の報告に関すること。
- (3) 救急計画に関すること。
- (4) 救急医療機関との連絡に関すること。
- (5) 技術研修及び訓練に関すること。
- (6) 機械器具等の保守に関すること。
- (7) 宮城県消防広域応援に関すること。
- (8) 警防計画に関すること。
- (9) 緊急消防援助隊に関すること。
- (10) 特殊災害計画に関すること。
- (11) 各種訓練計画に関すること。
- (12) 災害通信の運用、通信統計に関すること。
- (13) 消防、救急指令装置の保守管理に関すること。
- (14) 災害発生通報の受付及び出動指令に関すること。

## 署事務分掌

### 警 防

- (1) 水火災、その他の災害の警防及び対策に関すること。
- (2) 地水利に関すること。
- (3) 火災原因及び損害調査に関すること。
- (4) 消防団の訓練指導に関すること。
- (5) り災証明に関すること。
- (6) 消防機械器具、自動車等の管理保全に関すること。
- (7) 消防機械器具、自動車等の操作技術訓練に関すること。

### 救 助

- (1) 救助業務に関すること。
- (2) 救助訓練に関すること。
- (3) 救助用資機材の管理に関すること。

### 予 防

- (1) 火災予防条例に規定する各種届出に関すること。
- (2) 消防法第8条の2の2、第8条の2の3、第9条の3、第17条の3の3及び消防法施行規則第3条、第4条の事務に関すること。
- (3) 予防査察に関すること。
- (4) 予防統計に関すること。
- (5) 婦人防火クラブ、幼年消防クラブ及び自衛消防組織並びに自主防災の訓練指導等に関すること。
- (6) 住宅防火診断に関すること。
- (7) 署長が権限を有する消防法等違反の処理に関すること。

### 庶 務

- (1) 災害通信の運用通信統制に関すること。
- (2) 文書の収受発送に関すること。
- (3) 他の係に属さない事項に関すること。

### 通信指令

- (1) 災害通信の運用通信統制に関すること。
- (2) 消防、救急装置の保守管理に関すること。
- (3) 災害発生通報の受付及び出動指令に関すること。

### 救 急

- (1) 救急業務に関すること。
- (2) 応急手当等の指導及び普及に関すること。
- (3) 救急証明に関すること。
- (4) 救急用資機材の管理に関すること。

#### 4 消防職員配置状況

(平成26年12月31日現在)

階 級 区 分		階 級					計	
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長		消防士
組合総務課(併任)				4			4	
消防本部	消 防 長	1					1	
	次 長		1				1	
	警 防 課		3	3(3)			6(3)	
	予 防 課		2	2(1)			4(1)	
	本 部 付					入校1	入校2	3
巨理消防署			5	6	7	9	8	35
山元分署			1	6	4	3	5	19
合 計		1	12	21(4)	11	13	15	73(4)

( ) 内は署兼務

#### 5 階級別勤務年数

(平成26年12月31日現在)

階 級 勤務年数		階 級					計	
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長		消防士
5年未満						5	15	20
5～10年未満					5	8		13
10～15年未満					6			6
15～20年未満				5				5
20～25年未満				10				10
25年以上		1	12	6				19
合 計		1	12	21	11	13	15	73

#### 6 階級別年齢表

(平成26年12月31日現在)

階 級 年 齢 (歳)		階 級					計	
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長		消防士
18～19							2	2
20～25						2	12	14
26～30					3	11	1	15
31～35					8			8
36～40				10				10
41～45				7				7
46～50				4				4
51～55			7					7
56～60		1	5					6
合 計		1	12	21	11	13	15	73

## 7 職員の資格取得状況

(平成26年12月31日現在)

区 分		階 級	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防 士	計	
			司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長			
運 転 免 許	第 一 種	大型自動車		9	14	5	1		29	
		中型(8t限定)	1	3	7				11	
		中型自動車				6	12	8	26	
		普通自動車	1	12	21	11	13	15	73	
		大型特殊自動車								
		けん引								
	二 輪 車	普通二輪		3	5	2	2	3	15	
		大型二輪	1	5	3	1		1	11	
	小 型 船 舶			1	5	12	5	2		25
	ガ ス 溶 接				7	8	1		2	18
ア ー ク 溶 接					1	1			2	
毒 劇 物 取 扱				3			1	2	6	
陸上特 殊無線	第1級									
	第2級	1	4	12			8	15	40	
	第3級			7	11	5			23	
電 気 工 事 士				1		1	1		3	
危険物 取扱者	甲種									
	乙種			2	11	11	13	15	52	
	丙種			9	6				15	
ボ イ ラ ー						1		1	2	
特定化学物質等作業主任者					4				4	
潜 水 士			1	8	17	7	2		35	
救 急 救 命 士			1	3	12	1			17	
玉 掛 け				7	12	5	3	1	28	
小型移動式クレーン				7	12	5	2	1	27	
消 防 設 備 士				5					5	
合 計			7	93	164	74	65	64	467	

## 8 消防用車両の保有状況

区分 所属	車 両 名 称	登 録 番 号	登録年月	社 名	型 式	無 線 呼 称
本 部	指 令 車	宮城 800 た 23	H10. 5	トヨタ	セダン	巨消指令1
	指 揮 車	宮城 800 せ 5199	H12. 1	ニッサン	ワゴン	巨消指揮1
巨 理 消 防 署	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	宮城 880 は 1926	H23. 9	日 野	水-I型	巨消タンク1
	消 防 ポ ン プ 車	宮城 800 せ 8593	H26. 1	日 野	CD-I型	巨消ポンプ1
	小型動力ポンプ 付 水 槽 車	宮城 800 は 1874	H 7. 8	ニッサン	II 型	巨消水槽1
	高規格救急車	宮城 800 せ 6085	H24. 2	トヨタ	高規格	巨消救急1
	高規格救急車	宮城 800 せ 2924	H20. 11	トヨタ	高規格	巨消救急3
	救 助 工 作 車	宮城 88 ゆ 2945	H10. 3	日 野	II 型	巨消救助1
	資 機 材 搬 送 車	宮城 800 さ 6857	H12. 7	トヨタ	2tトラック	巨消搬送1
	防 火 広 報 車	宮城 301 は 7884	H24. 9	トヨタ	ワゴン	巨消広報1
	行 政 車	宮城 500 み 2903	H14. 12	トヨタ	セダン	巨消行政1
	連 絡 車	宮城 500 も 7237	H13. 9	ホンダ	ワゴン	巨消連絡1
山 元 分 署	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	宮城 800 さ 2340	H11. 3	日 野	水I-A型	巨消タンク2
	消 防 ポ ン プ 車	宮城 800 す 3814	H15. 3	日 野	CD-I型	巨消ポンプ2
	高規格救急車	宮城 800 せ 7520	H25. 3	トヨタ	高規格	巨消救急2
	指 揮 車	宮城 88 あ 1530	H25. 3	ニッサン	軽バン	巨消指揮2



## 9 消防力の整備指針と現有消防力

区 分	基 準	現 有	過不足数
署 所 の 数	2	2	
ポンプ自動車	4	4	
化学自動車	1	0	△1
はしご車	1	0	△1
救助工作車	1	1	
救急自動車	3(1)	3(1)	
その他の車両	4	4	
消 防 職 員	172	73	△99

( ) 内は非常用救急車

## 10 消防用車両の配備状況

種 別 区 分	計	指令車 指揮車	消 防 ポンプ 自動車	水槽付消 防ポンプ 自 動 車	高規格 救急車	救 助 工作車	資機材 搬送車	水槽 車	その他 の車両
消 防 本 部	2	2							
巨理消防署	10		1	1	2(1)	1	1	1	3
山元分署	4	1	1	1	1				
合 計	16	3	2	2	3(1)	1	1	1	3

( ) 内は非常用救急車

## 1.1 管内消防団の組織

(平成26年4月1日現在)

町 別	団 長	副 団 長	団 員 数	計 (条例定数)
巨 理 町	1	4	423	428 (530)
山 元 町	1	2	314	317 (400)
合 計	2	6	737	745 (930)

## 1.2 消防団の車両・人員配備状況

区 分		種 別	自動車ポンプ (普通)	小型動力 ポンプ	積 載 車	団 員 数 (人)
消 防 団	合 計		6		55	745
	巨 理 町	計	4	32	32	428
		本部分団				12
		巨理分団	1	11	11	125
		荒浜分団	1	4	4	71
		吉田分団	1	9	9	112
		逢隈分団	1	8	8	108
		計	2	23	23	317
	山 元 町	本部分団				6
		第1分団		4	4	49
		第2分団	1	4	4	65
		第3分団		3	3	46
		第4分団	1	4	4	69
		第5分団		4	4	37
第6分団			4	4	45	

### 1.3 管内の消防水利状況

種別 町別	地区別	消火栓		防火水槽		その他		
		公設	私設	公設	私設	プール	池	河川溝等
巨理町	亘理	151	4	30	1	4	5	8
	荒浜	55		18		2	1	11
	吉田	102	1	38	1	3	6	4
	逢隈	138		31	1	2	7	6
山元町	山下	226	5	54	1	3	22	9
	坂元	80	3	34		2	22	4
合計		752	13	205	4	16	63	42

## < 警 防 >

### 1 火災概要

平成26年中の総出火件数は25件で、前年に比べ4件の減少となっている。

火災種別については、建物火災7件、車両火災3件、その他の火災が15件である。

出火原因は、放火10件、火遊び3件、火入れ1件の順となっており前年に比べ、放火による出火が増加している。

損害額については、36,261千円で、前年に比べ13,250千円の増加となっている。

死傷者については、死者1名、負傷者は6名発生している。

初期消火の状況については、出火件数25件のうち9件が実施され、成功件数は3件である。



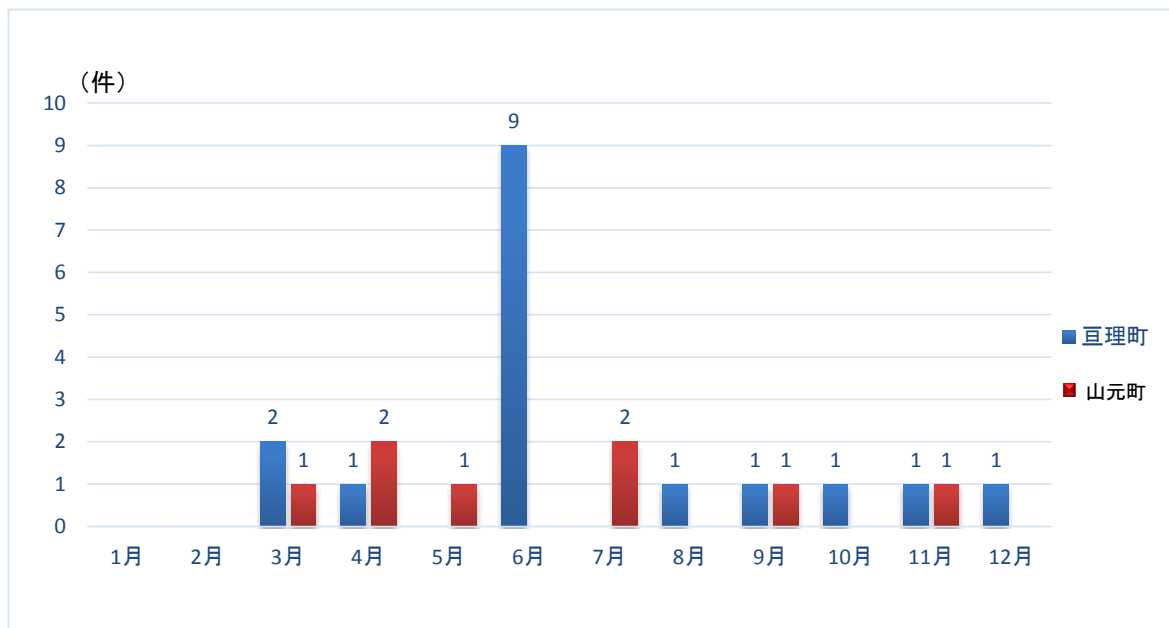
巨理消防署消防ポンプ自動車

## 2 町別の火災発生状況

区 分	項 目	単位	巨 理 町	山 元 町	計
火災件数	建 物	件	4	3	7
	林 野				
	車 両		1	2	3
	船 舶				
	そ の 他		12	3	15
	計		17	8	25
焼損棟数	全 焼	棟	2	1	3
	半 焼		1		1
	部 分 焼		5		5
	ぼ や		1	2	3
	計		9	3	12
建物焼損床面積		m <sup>2</sup>	180	155	335
建物焼損表面積			39		39
林野焼損面積		a			
死 者		人	1		1
負 傷 者			5	1	6
り災世帯数	全 損	世帯	1	1	2
	半 損		1		1
	小 損		3	1	4
	計		5	2	7
り 災 人 員		人	17	12	29
損 害 額	建 物	千円	32,085	2,951	35,036
	林 野				
	車 両		120	573	693
	船 舶				
	そ の 他		532		532
	計		32,737	3,524	36,261
1 件 平 均		千円	1,926	441	1,450
1 日 平 均			90	10	99
※ 出 火 率		件	5.0	6.0	5.3

※ 出火率とは、人口1万人に対する火災発生件数

### 3 月別の火災発生件数

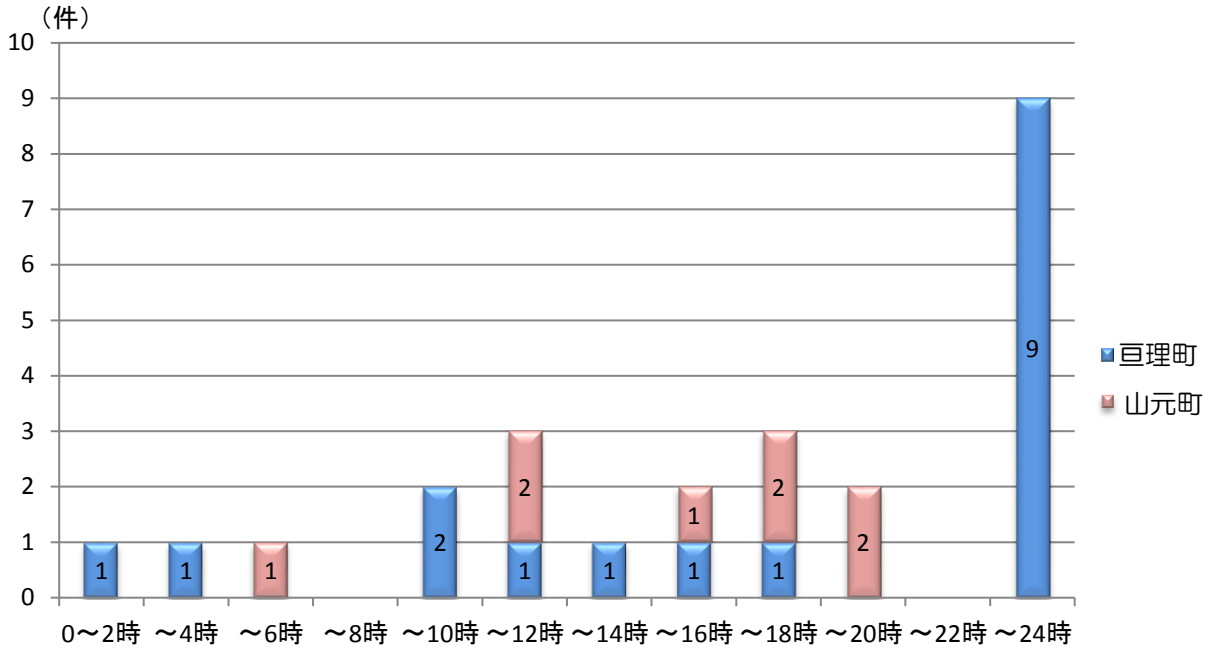


町別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
巨理町			2	1		9		1	1	1	1	1
山元町			1	2	1		2		1		1	
計 (件)			3	3	1	9	2	1	2	1	2	1

### 4 曜日別の火災発生件数

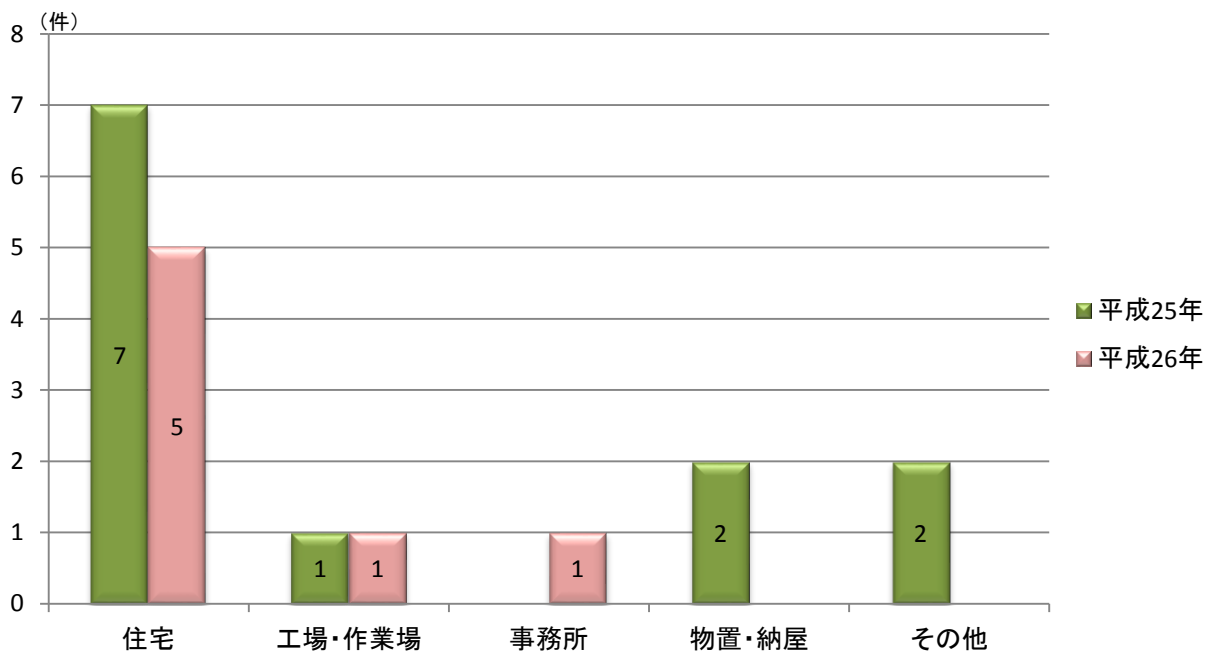
町別 \ 曜日別	日	月	火	水	木	金	土
巨理町	12		2	2			1
山元町	2	3					3
計 (件)	14	3	2	2			4

## 5 時間別の火災発生件数

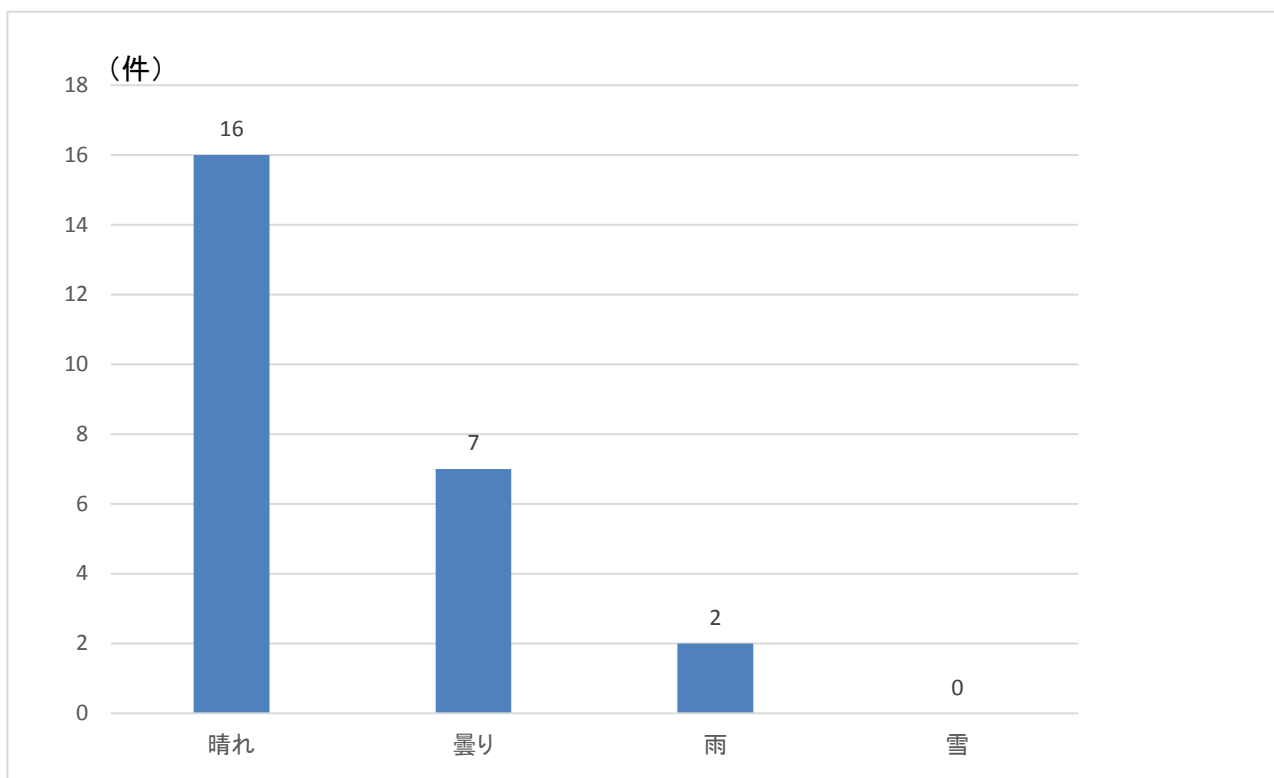


町別 \ 時間別	0~2時	~4時	~6時	~8時	~10時	~12時	~14時	~16時	~18時	~20時	~22時	~24時
巨理町	1	1			2	1	1	1	1			9
山元町			1			2		1	2	2		
計(件)	1	1	1		2	3	1	2	3	2		9

## 6 火元建物の用途別火災発生件数



## 7 気象別の火災発生状況

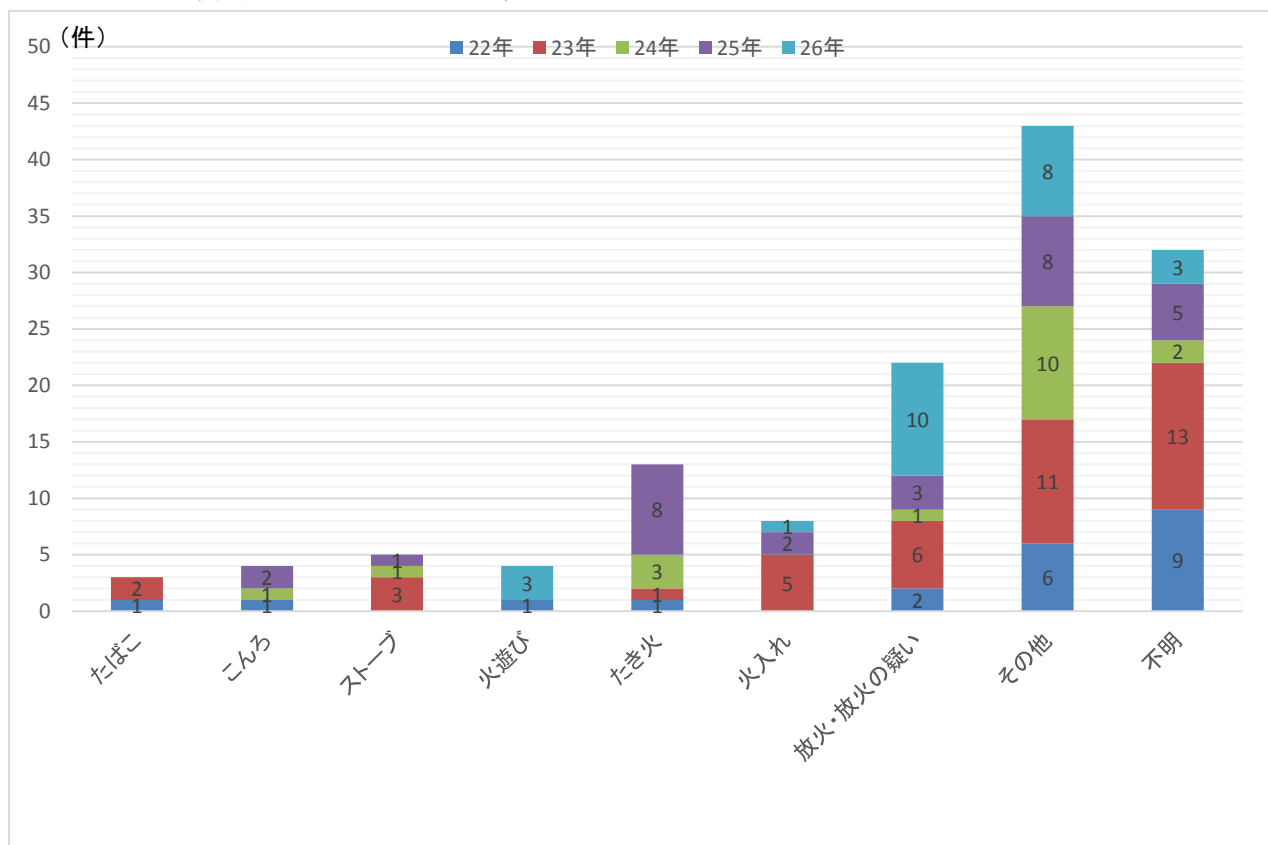


## 8 原因別の火災発生件数・損害状況

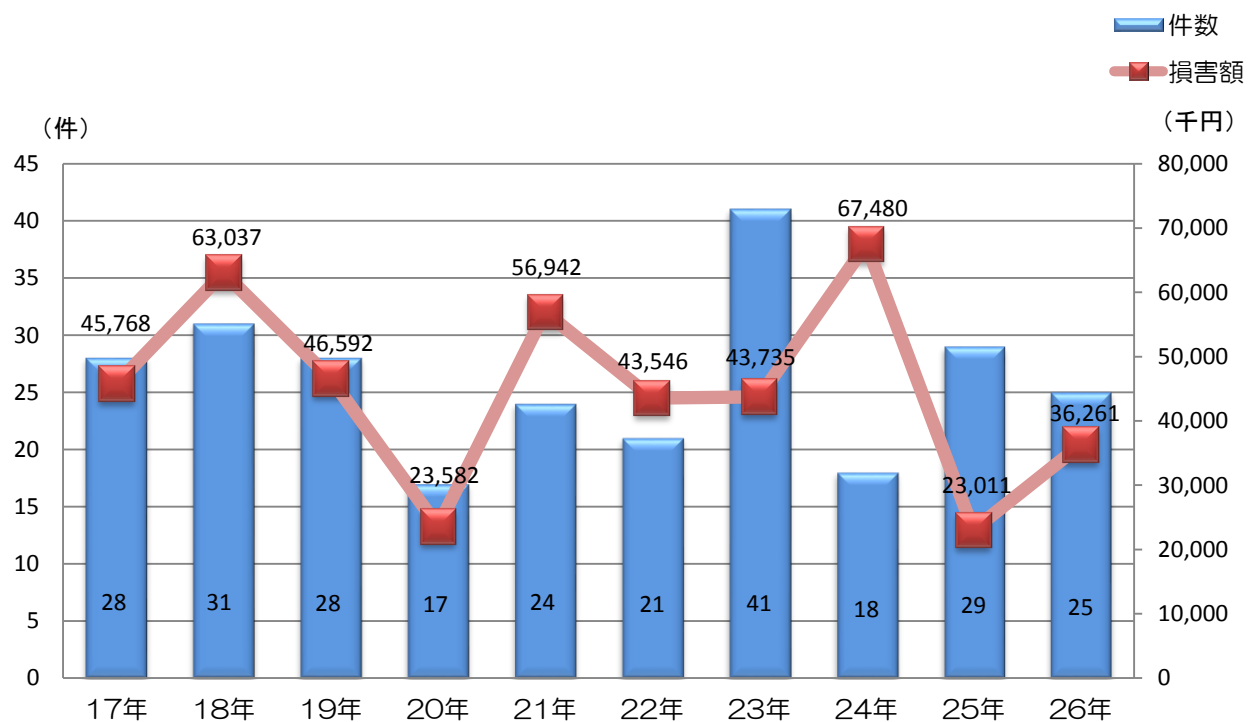
原因	平成26年		平成25年	
	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)
こ ん ろ			2	125
ス ト ー ブ			1	5,736
火 遊 び	3	45		
た き 火			8	552
火 入 れ	1	129	2	565
放 火 ・ 放 火 の 疑 い	10	523	3	360
そ の 他	8	24,833	8	7,311
不 明	3	10,731	5	8,362
た ば こ				
計	25	36,261	29	23,011



## 9 過去5年間の出火原因の推移



## 10 過去10年間における火災発生件数・損害額の比較



## 11 初期消火状況

件数	計		建 物		林 野		車 両		そ の 他	
	25		7				3		15	
	件数	効果有	件数	効果有	件数	効果有	件数	効果有	件数	効果有
消火器具等	25	3	7	2			3		15	1
粉 末 消 火 器	1	1	1	1						
水道、浴槽、汲み置き等の水	3	1	3	1						
水 バ ケ ツ	1								1	
寝具、衣類等をかけた										
そ の 他	4	1							4	1
初 期 消 火 な し	16		3				3		10	

## 12 災害出動状況

種 別	区 分	巨 理 町		山 元 町	
		回 数	延人数	回 数	延人数
火 災	建 物	4	48	3	32
	林 野				
	車 両	1	12	2	24
	船 舶				
	そ の 他	12	60	3	47
風 水 害 等	風 水 害	9	48	9	29
警 戒 ・ 偵 察	警 戒	6	24	2	7
	偵 察	9	20	8	25
	特 別 警 戒	2	14	1	2
支 援	救 急 支 援	180	422	105	294
そ の 他	※ 誤 報 等	10	117		

※ 上記災害を除く出動

### 1.3 救急概要

平成26年中の救急出動件数は1,937件（前年比48件減）、搬送人員は1,821人（前年比8人減）であり、1日平均約5件の割合で出動している。

平成26年は出動件数、搬送人員ともに前年よりやや減少している。

各種講習会では、AEDと応急手当の普及促進及び救急車の適正利用の啓発に努めている。

当本部では、高規格救急自動車3台に救急救命士を配置して、救急業務にあたっている。



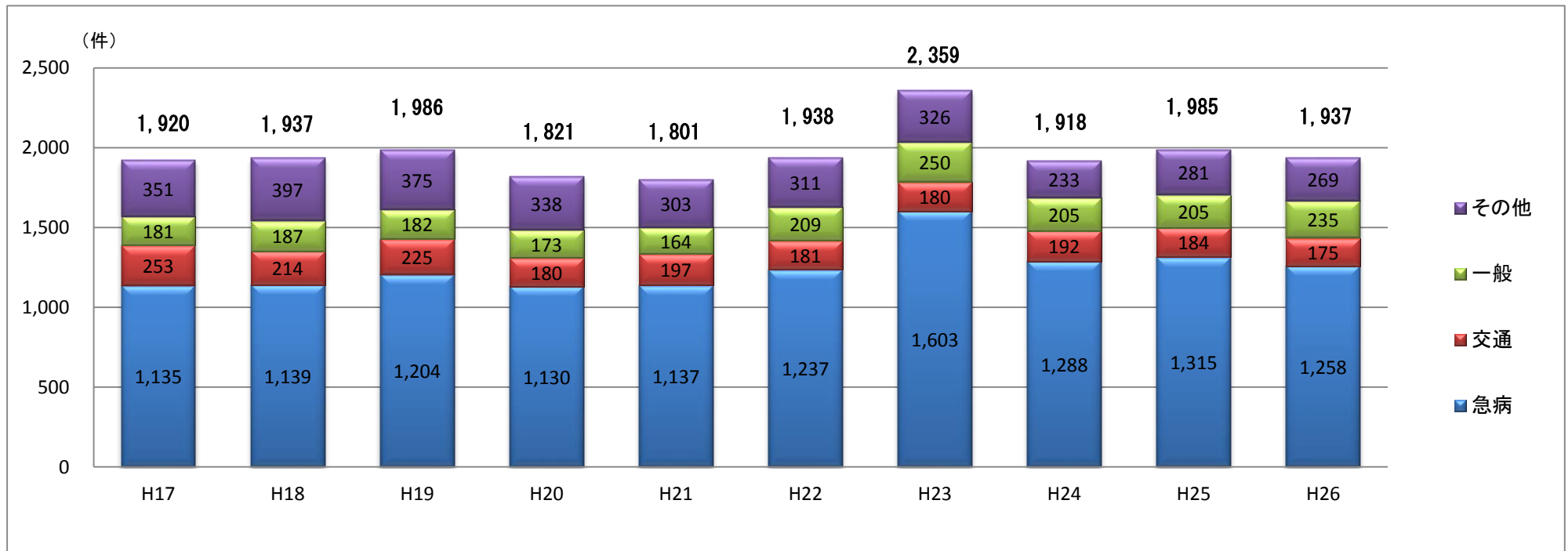
#### 救急講習会の実施状況

救命講習会	普通救命 (AED)講習会	上級救命講習会	応急手当 普及員講習会
49回	26回	3回	実施なし
1,588人	272人	42人	

## 1.4 救急出動件数・搬送人員

区分	事故種別救急出動件数(件)														事故種別搬送人員(人)												
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他の搬送				計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
											転院	医師	資機材	その他													
平成26年合計	6	0	0	175	27	12	235	5	19	1,258	199	0	0	1	1,937	6	0	0	181	27	11	212	6	10	1,169	199	1,821
平成25年合計	5	0	1	184	22	4	205	11	20	1,315	218	0	0	0	1,985	4	0	1	195	20	4	183	9	10	1,186	217	1,829
前年比	1	±0	△1	△9	5	8	30	△6	△1	△57	△19	±0	±0	1	△48	2	±0	△1	△14	7	7	29	△3	±0	△17	△18	△8

## 3.15 過去10年間における救急出動件数の推移

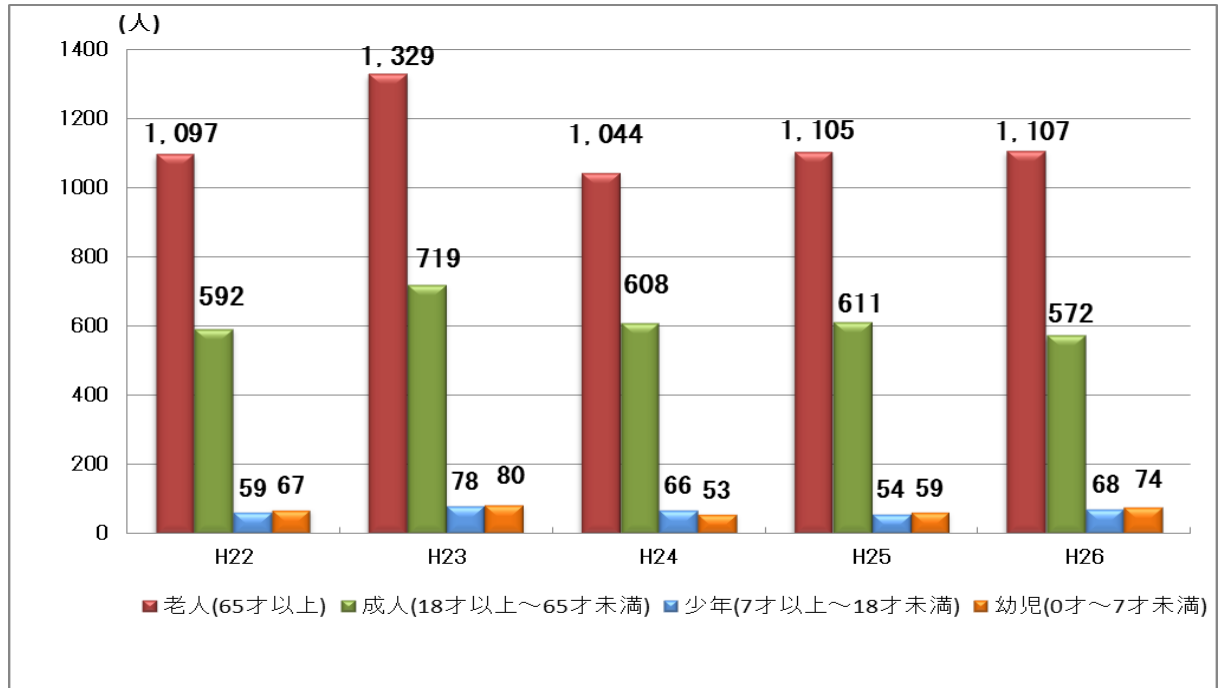


## 16 月別の出動件数

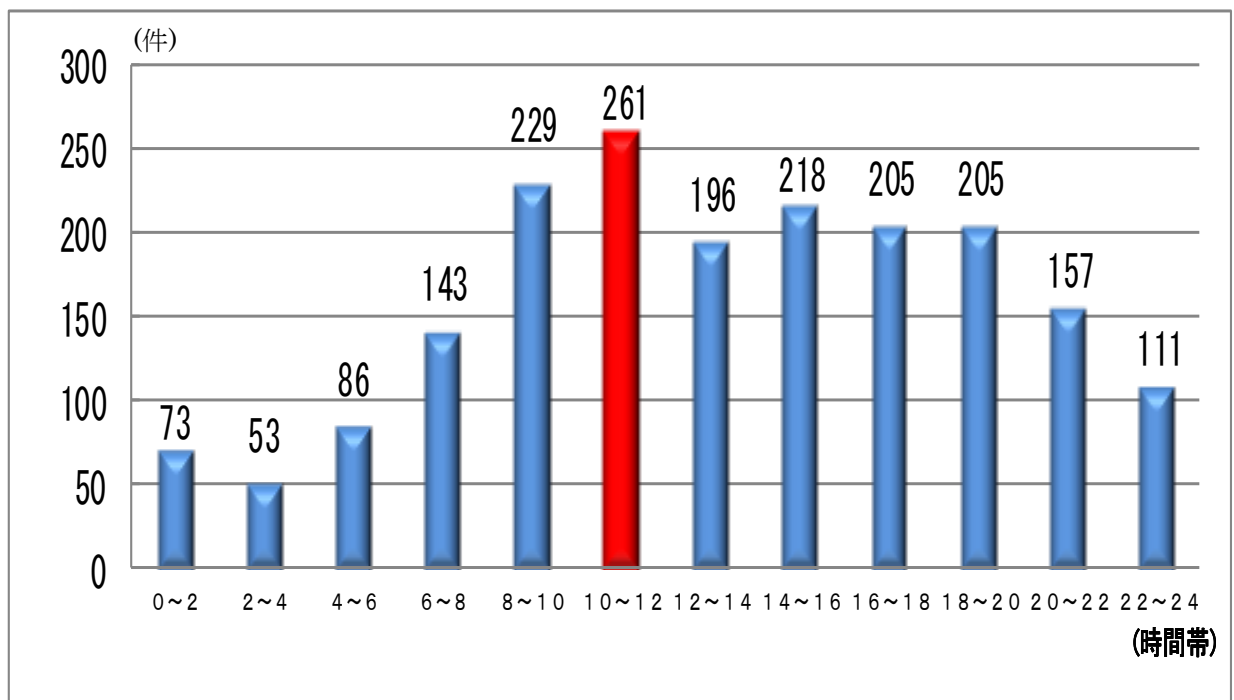
(件)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
177	147	180	141	148	151	159	162	172	165	157	178

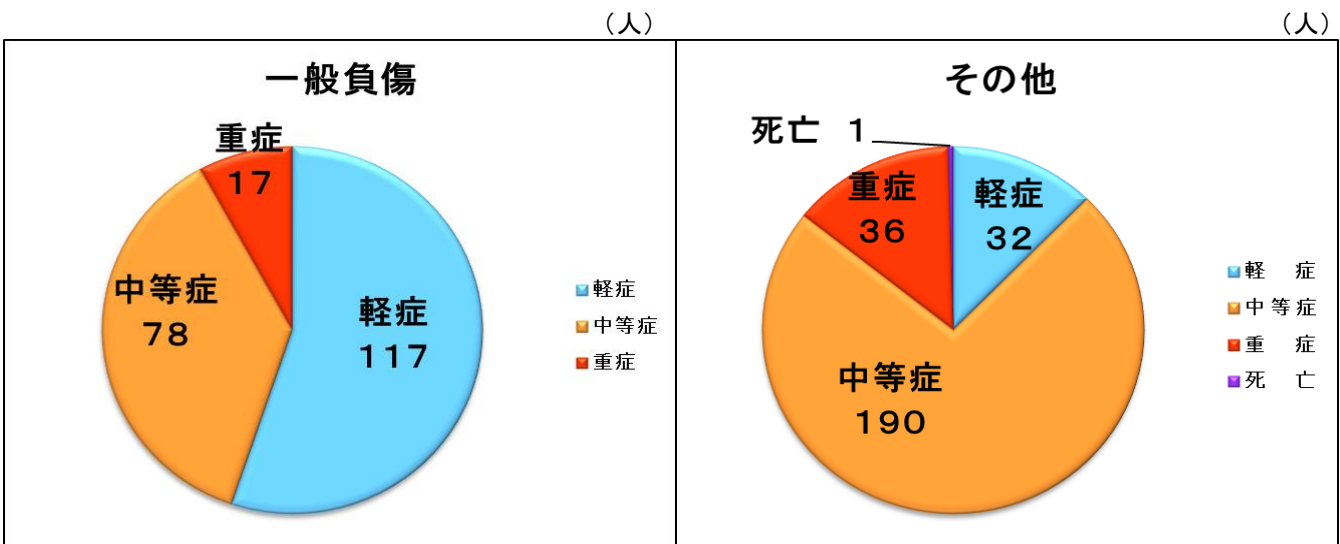
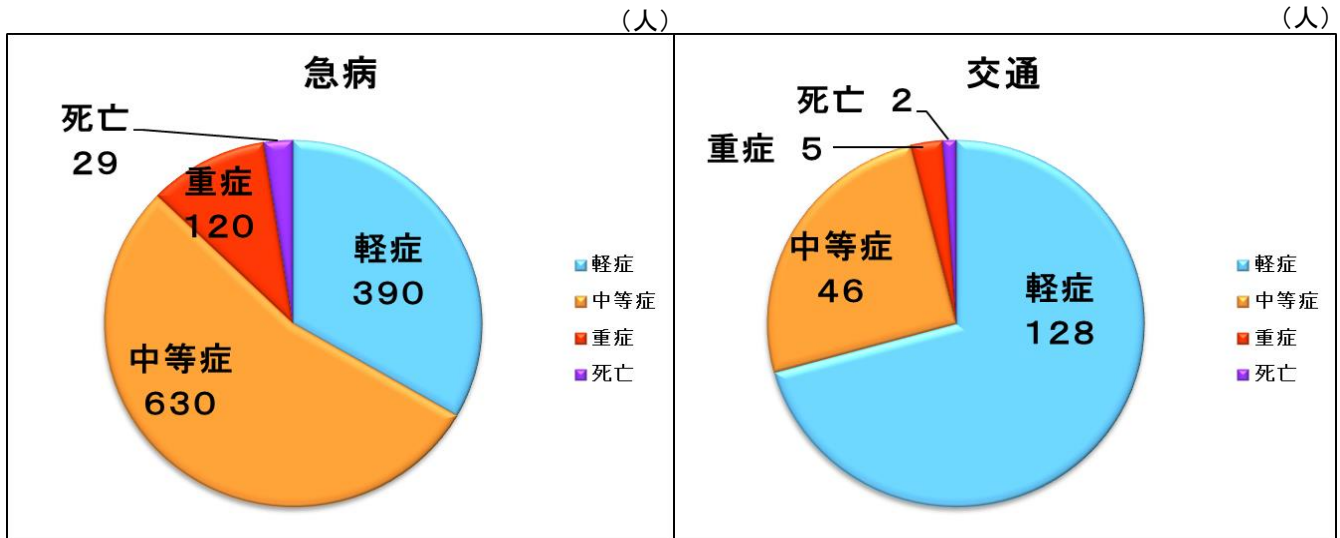
## 17 過去5年間における年齢別の搬送人員



## 18 時間帯別の出動件数



19 事故種別・傷病程度別の搬送人員



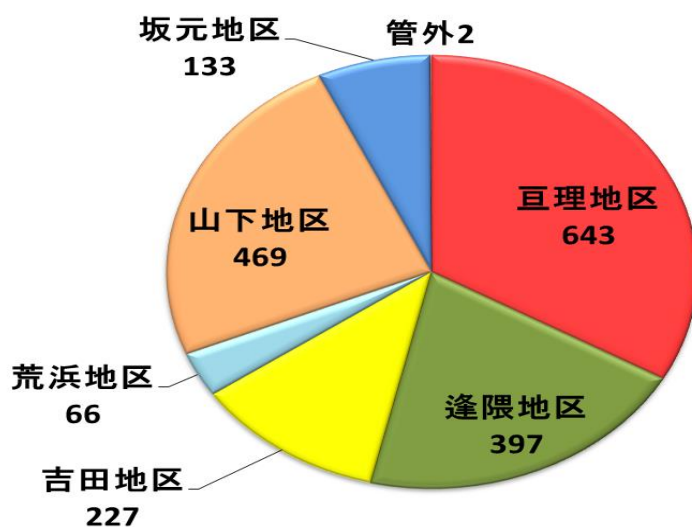
(人)

	軽 症	中 等 症	重 症	死 亡	合 計
急 病	390	630	120	29	1,169
交 通	128	46	5	2	181
一般負傷	117	78	17	0	212
そ の 他	32	190	36	1	259
合 計	667	944	178	32	1,821

## 20 現場到着所要時間別の出動件数（入電～現場到着）

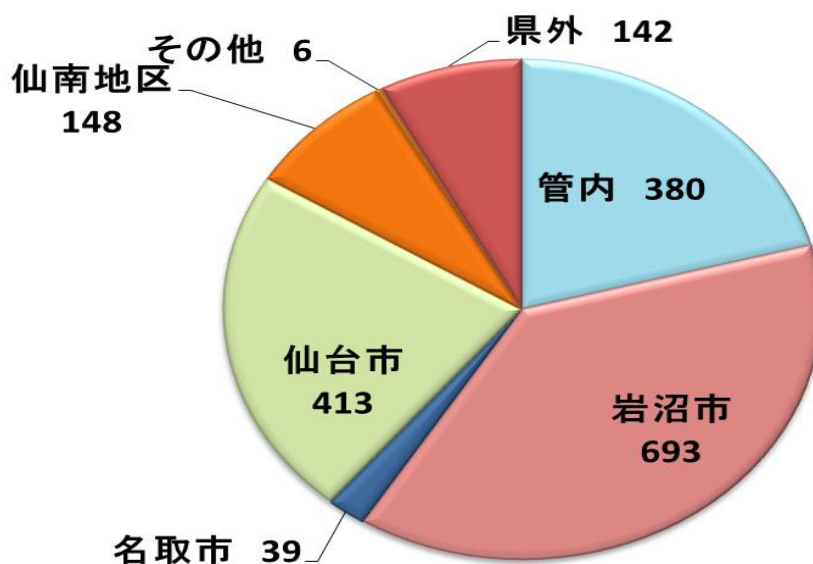
現場到着 所要時間	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分 以上	計	平均所要 時間(分)
件 数	63	254	1, 099	481	40	1, 937	7. 8

## 21 地区別の出動件数



	巨理地区	逢隈地区	吉田地区	荒浜地区	山下地区	坂元地区	管外	合計
件 数	643	397	227	66	469	133	2	1, 937

## 22 地域別医療機関への搬送人員



	管 内	岩沼市	名取市	仙台市	仙南地区	その他	県 外	合計
搬送人員	380	693	39	413	148	6	142	1, 821

## 2.3 救急隊員が行った応急処置の状況

(回数)

処置別	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
	止血	血	12	15	23	6
固定	定	2	89	26	21	138
人工呼吸	吸					
胸骨圧迫	迫					
心肺蘇生	生	38	2	1	2	43
酸素吸入	入	230	12	18	80	340
気道確保	保	43	2	2	3	50
	経鼻エアウェイ					
	食道閉鎖式エアウェイ	4				4
	気管挿管					
	異物除去					
保温	温	1				1
被覆	覆	7	40	55	12	114
在宅療法	法	6			1	7
除細動	動	8				8
静脈路確保	保	11				11
薬剤投与	与	8				8
その他の処置		1,067	112	172	231	1,582
血圧測定	定	1,108	174	196	255	1,733
聴診	診	127	17	8	32	184
血中酸素飽和度測定	定	1,131	177	206	256	1,770
心電図測定	定	510	21	31	71	633
応急処置対象人員		1,169	181	212	259	1,821

### 応急処置の分類

- ・「止血」とは、止血帯・包帯等による止血処置をいう。
- ・「固定」とは、副木等による固定又は安定保護をいう。
- ・「人工呼吸」とは、口対口又は器具等による人工呼吸をいう。
- ・「保温」とは、傷病者の状況から体温を保持する必要がある場合に行う保温処置をいう。
- ・「気道確保」とは、気道を確保するための処置並びに口腔内清拭及び吸引の処置をいう。
- ・「食道閉鎖式エアウェイ」、「気管挿管」、「静脈路確保」、「薬剤投与」とは、救急救命士が重度傷病者に対して行える気道確保・心拍回復等の処置をいう。



## 24 救助概要

平成 26 年中における救助概要は、出動件数 16 件、活動件数 9 件、救助人員が 9 人となっている。

交通事故をはじめ、各種災害事象が複雑多様化しており、これら救助事案に対応するため、救助体制の充実強化を図り万全を期している。

### (1) 出動件数及び活動件数

総出動件数の内訳は、交通事故が 11 件と最も多く、次いで建物等による事故 2 件、その他の事故 2 件、機械による事故 1 件となっている。

活動件数の内訳は、交通事故が 5 件、建物等による事故が 2 件、機械による事故 1 件、その他の事故が 1 件となっている。

### (2) 救助人員

救助人員の内訳は、交通事故 5 人、建物等による事故が 2 人、機械による事故 1 人、その他の事故 1 人となっている。



救助工作車（Ⅱ型）

## 25 救助活動状況

(件・人)

区分 \ 事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
出動件数		11			1	2			2	16
活動件数		5			1	2			1	9
救助人員		5			1	2			1	9
活動人員		40			10	15			15	80

## 26 救助出動件数の推移

(件)

年別 \ 事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
平成17年	1	19	3						4	27
18年	2	18	2	1	2				2	27
19年	2	22	7	1	2				1	32
20年		12	6						4	22
21年		20	2				1		2	25
22年		17	7		2		2		10	37
23年		10	2	52	1				1	66
24年		14	1		1	1			4	21
25年		18	2		2	2			2	26
26年		11			1	2			2	16

## 27 救出所要時間

(件)

時間 事故種別	覚知から救出に要した時間						
	10分未満	10~19分	20~29分	30~59分	60~119分	120分以上	計
火災							
交通事故	1	1	3				5
水難事故							
風水害等自然災害							
機械による事故				1			1
建物等による事故		1	1				2
ガス及び酸欠事故							
破裂事故							
その他の事故						1	1
合計	1	2	4	1		1	9

## 28 事故種別による傷病程度

(人)

事故種別 傷病程度	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
死亡		1								1
重症										
中等症		2			1					3
軽症		2				1			1	4
不搬送						1				1
合計		5			1	2			1	9

## 29 警防及び救助資機材の現有状況

種別	品名	合計	本署	分署
警防用資機材	耐熱服	6	5	1
	ジェットシューター	34	28	6
	泡消火薬剤	50	28	22
	布水槽	3	2	1
	マンホール開放ジャッキ	4	2	2
	オイルフェンス	3	3	
	エアテント	3	2	1
一般用救助器具	かぎ付はしご	5	4	1
	三連はしご	6	5	1
	ワイヤーはしご	1	1	
	空気式救助マット	1	1	
	救命索発射銃	2	2	
	サバイバースリング	1	1	
	救助用縛帯	7	5	2
	簡易縛帯	1	1	
	エバックハーネス	2	2	
	平担架	1	1	
	バスケット型担架	2	2	
	パーティカルストレッチャー	1	1	
	ロープ展張計	1	1	
重量物排除器具	油圧スプレッター	3	2	充電式1
	油圧プランジャーラム	1	1	
	可搬ウインチ	3	3	
	油圧エンジンポンプ	2	2	
	手動油圧ポンプ	1	1	
	マンホール救助器具	1	1	
	マット型空気ジャッキ	5	5	
切断用器具	油圧カッター	2	1	充電式1
	油圧ペダルカッター	2	1	充電式1
	エンジンカッター	3	2	1
	溶断器(ガス・酸素)	1	1	
	酸素切断器	1	1	
	チェーンソー	4	3	1
	空気鋸	1	1	

種 別	品 名	合 計	本 署	分 署
破壊用器具	携帯用コンクリート破壊器具	3	2	1
	削 岩 機	2	2	
呼吸保護用器具	空 気 呼 吸 器	21	14	7
	エアラインマスク式	1	1	
	送 排 風 機	1	1	
隊員保護用資機材	携 帯 警 報 器	20	13	7
	耐 電 手 袋	5	3	2
	耐 電 長 靴	5	3	2
	化 学 防 護 服	3	3	
	防 毒 衣	10	6	4
	放 射 線 防 護 服	2	2	
	警報付ポケット線量計	12	10	2
測定用器具	酸素濃度・可燃性ガス測定器	2	1	1
	放 射 線 測 定 器	7	6	1
水難救助器具	潜 水 器 具 一 式	9	9	
	救 命 浮 環	15	13	2
	浮 標	1	1	
	救 命 ボ ー ト	6	4	2
	船 外 機	2	2	
	救 命 胴 衣	60	46	14
	水 中 無 線 機	1	1	
その他の器具	携 帯 拡 声 器	16	13	3
	緩 降 機	1	1	
	車 両 移 動 器 具	1	1	
高度救助用資機材	熱 画 像 直 視 装 置	1	1	

## 30 通信施設の概要

### ◎ 高機能消防指令システム

#### 【119番通報受信・出動指令】

119番通報の音声は自動録音、発信場所は地図画面上に表示され、災害種別を判断した時点で、自動的に発生地区名と災害種別を隊員に告知（予告指令）、更に災害の概要・規模・位置に応じた災害現場に最も近い消防車・救急車を自動的に隊編成して無線・放送により出動指令を発する。同時に車両に搭載しているデータ系端末装置の地図画面上には災害現場の位置が表示され、ルート案内まで可能としている。

災害出動時に最適な出動体制を編成するために、消防車両の出動の有無にかかわらず消防車両等の動態やGPSで測位した位置情報は、逐次通信指令室に送信されて管理されている。

#### 【災害発生時の情報提供体制】

システムからの操作により指定した関係機関へ自動で通報できるほか、住民からの問い合わせに対しては、災害状況等自動案内装置による自動応答を可能としている。

#### 【気象情報収集装置】

巨理消防署及び山元分署の気象観測データを、通信指令室に設置された端末から閲覧できる。

#### 【高所監視カメラ（巨理町吉田地区に設置）】

管内の災害状況を、遠隔操作により上下左右の方向転換及びズームが可能で、通信指令室の表示盤で映像を確認できる。

### ◎ 消防救急デジタル無線

山元町坂元地区に中継基地局を増設し、管内全域での無線交信を可能としている。また、宮城県内の消防本部間をネットワーク接続することにより県域全体間で無線交信を可能としている。

その他、文字情報の送受信を可能としたショートメッセージ機能や、特定の無線局間のみ交信できるセルコール通信などの高機能化を実現している。

### ◎ 消防救急アナログ無線

消防機関独自の通信手段として発足当時から利用されているアナログ方式の無線で、消防応援・受援体制を維持するために、国内全ての消防本部がデジタル無線を整備完了するまでの間、継続が義務付けられている。

### ◎ 宮城県防災行政無線

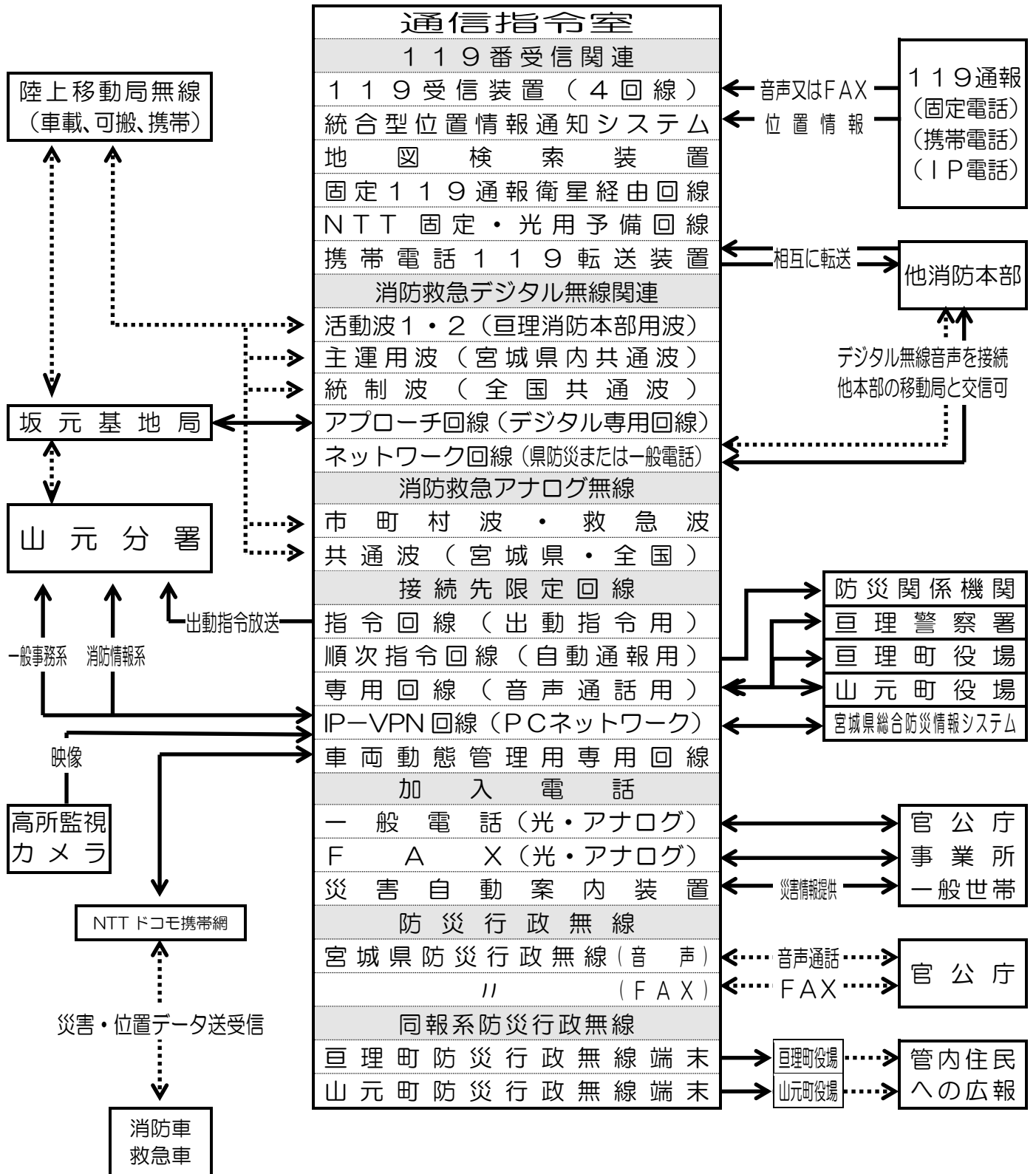
県内の自治体に設置されているもので、地上に設置された中継局を経由するもの（地上系）と衛星を中継局とするもの（衛星系）があり、地上系は音声通話とFAXの送受信が可能で、衛星系は音声通話、FAX、データ及びメールの送受信のほか映像の受信が可能である。

### ◎ 巨理町・山元町防災行政無線端末（同報系無線）

一定以上の火災が発生した場合には、高機能消防指令システムと連携して発生地域・災害概要を合成音声で住民に広報。消防団の出動要請ができるほか、震度3以上の地震が発生または津波注意報以上が発表された場合は、蓄積音声により継続的な広報を可能としている。

### 3.1 通信施設系統図

—— 有線系                      ..... 無線系



### 3.2 通信関連施設・設備一覧表

施設	設置室・場所	施設・設備分類	名称	数量
巨理地区行政事務組合消防本部・巨理消防署庁舎	通信指令室 機械室	119番通報受信系	119番受信装置	4
			119番FAX受信装置	1
			地図検索装置・統合型位置情報通知装置	1
		指令系	自動出動指定装置	1
			指令伝送装置	1
			順次指令装置	1
			メール招集システム	1
		音響系	長時間録音装置	1
			合成音声装置	1
		支援情報系	情報表示盤	3
			気象情報収集装置・WEBサーバー	1
			データ系センター装置（動態管理）	1
		映像系	情報表示盤	1
			映像制御・分配装置	1
			高所監視カメラ制御装置	1
			庁舎監視カメラ操作PC	1
		無線操作系	無線遠隔制御装置（デジタル用7、アナログ用5）	12
	同報系防災行政無線端末装置（巨理町、山元町）		2	
	消防業務支援システム系	サーバー	1	
		クライアントPC	2	
	電源系	無停電電源装置（AC100V）	1	
		直流電源装置（DC48V）	1	
	事務室 待機室	無線系	無線遠隔制御装置（デジタル無線用）	1
		映像系	情報表示盤	3
		指令系	署所端末装置	3
		消防業務支援システム系	クライアントPC	6
	屋上	無線系	デジタル無線用・アナログ無線用空中線	8
空中線鉄塔			1	
支援情報系		気象観測装置	1	
屋外	電源装置	発電設備（75KVA）	1	
山元分署	事務室 待機室	無線系	無線遠隔制御装置（デジタル無線用）	1
		映像系	情報表示盤	2
		指令系	署所端末装置	1
		消防業務支援システム系	クライアントPC	2
		電源装置	無停電電源装置（DC48V）	1
	屋上	無線系	デジタル無線用・アナログ無線用空中線	2
			空中線鉄塔	1
		支援情報系	気象観測装置	1
	屋外	電源装置	発電設備（8KVA）	1
坂元基地局	無線系	デジタル無線用空中線	4	
		空中線鉄塔	1	
	電源装置	非常用発電発電機・直流電源装置（DC48V）	1	
巨理町吉田地区	映像系	高所監視カメラ	1	



### 33 無線局一覽表

消防救急デジタル無線						
	呼出名称	無線局種別	出力	装備波	備考	
通信指令室	巨消本部	基地局無線局	10W	活動波1	消防隊交信用	
		//	//	活動波2	救急隊交信用	
		//	//	主運用波	宮城県内共通	
		//	//	統制波3波	3波切替方式	
		※坂元基地局には上記同構成の無線機を設置。通信指令室から遠隔操作・監視可能。				
		卓上型陸上移動局	//	活動波1・2	非常用	
		//	//	主運用波・統制波	主運用波受信用	
百理消防署	巨消指揮 1	車載型陸上移動局	//	活動波 2波 主運用波7波 統制波 3波 切替方式	指揮車	
	巨消タンク 1	//	//		タンク車	
	巨消ポンプ 1	//	//		ポンプ車	
	巨消搬送 1	//	//		資機材搬送車	
	巨消救助 1	//	//		救助工作車	
	巨消救急 1	//	//		高規格救急車	
	巨消救急 3	//	//		//	
	巨消水槽 1	//	//		水槽車	
	巨消指令 1	//	//		指令車	
	巨消広報 1	//	//		広報車	
	巨消連絡 1	//	//		連絡車	
	巨消行政 1	//	//		行政車	
	巨消01～03	可搬型陸上移動局 3台	//			
	巨消07～52	携帯型陸上移動局 17台	5W			
山元分署	巨消山元	卓上型陸上移動局	10W	活動波2波、主運用波、統制波	待機室	
	巨消指揮 2	車載型陸上移動局	//	活動波 2波 主運用波7波 統制波 3波 切替方式	指揮車	
	巨消タンク 2	//	//		タンク車	
	巨消ポンプ 2	//	//		ポンプ車	
	巨消救急 2	//	//		高規格救急車	
	巨消 04	可搬型陸上移動局	//		切替方式	
	巨消71～92	携帯型陸上移動局8台	5W			
消防救急アナログ無線 市：市町村波、県：宮城県内共通波、全：全国共通波、防：防災相互波						
	呼出名称	無線局種別	出力	装備波	備考	
通信室	巨消本部	基地局・固定局	10W	市、県、全1波、防	庁舎に4台設置	
百理消防署	巨消指揮1	車載型陸上移動局	//	市、県、全3波、防	指揮車車載	
	巨消タンク1	//	//	市、県、全1波、防	タンク車車載	
	巨消ポンプ1	//	//	市、県、全1波、防	ポンプ車車載	
	巨消搬送1	//	//	市、県、全1波、防	資機材搬送車車載	
	巨消救助1	//	//	市、県、全3波、防	救助工作車車載	
	巨消救急1	//	//	市、県、全3波、防	高規格救急車車載	
	巨消救急3	//	//	市、県、全1波、防	//	
	巨消水槽1	//	//	市、県、全1波、防	水槽車車載	
	巨消指令1	//	5W	市、県、全3波	指令車車載	
	巨消11～26	携帯型陸上移動局10台	10W	市、県、全3波、防		
山元分署	巨消山元	基地局・固定局	//	市、県、全1波	待機室設置	
	巨消指揮2	車載型陸上移動局	//	市、県、防	指揮車車載	
	巨消タンク2	//	//	市、県、全3波、防	タンク車車載	
	巨消ポンプ2	//	//	市、県、全3波、防	ポンプ車車載	
	巨消救急2	//	//	市、県、全3波、防	高規格救急車車載	
	巨消31～35	携帯型陸上移動局 5台	5W	市、県、全3波、防		

### 3.4 災害等の覚知状況

災害種別ごとの覚知内訳を分析すると、火災は25件中、119番通報は固定・IP電話から4件、携帯電話から7件、計11件と約半数を占め、119番通報以外からも多く、事後聞知の10件、加入電話の3件、自己覚知の1件となっている。

救急は1,937件中、119番通報は、固定・IP電話から1,063件、携帯電話から594件の計1,657件と約5分の4を占める。しかし、依然として加入電話での受信が213件と通報時にあえて119番をダイヤルせずに消防本部・消防署の一般加入電話に通報するケースが比較的多い傾向にある。

救助は16件中、119番通報は固定・IP電話から1件、携帯電話から13件の計14件と大部分を占めているほか、加入電話及び駆け付けへは各1件となっている。

(件)

緊急通報等の内訳											
覚知種別		火災	救急	救助	問い合わせ	間違い	いたずら	通報訓練	その他	回線試験	合計
119通報	固定・IP電話	4	1,063	1	60	37	6	105	154	21	1,451
	携帯電話	7	594	13	75	57	9	29	183	13	980
	小計	11	1,657	14	135	94	15	134	337	34	2,431
119通報除く	加入電話	3	213	1	/						217
	専用回線		12								12
	駆け付け		49	1							50
	自己覚知	1	6								7
	事後聞知	10									10
	小計	14	280	2							296
合計		25	1,937	16	135	94	15	134	337	34	2,727

## < 予 防 >

### 1 予防概要

平成26年中における予防概要は、防火対象物数は1,158棟（前年比25棟減）、危険物施設設置状況は179施設（前年比2施設減）となっている。

防火対象物立入検査実施件数は360件、危険物施設立入検査実施件数は92件となっており、前年と比べると、防火対象物立入検査実施件数が53件の増加、危険物施設立入検査実施件数が8件の増加となっている。

建築確認申請処理状況は235件で、前年とほぼ同数で、東日本大震災からの復興における新築の建築物等が増えたものである。

管内においても、法令改正に対応しながら、効率的な立入検査の実施により、火災予防を強化するとともに、防火ポスターの掲示、防火教室、避難訓練等を通じ更なる防災対策の充実に努めている。

### 2 各種団体訓練指導状況

種 別	区 分	回 数	人 数
総合防災訓練		2	995
消防団訓練		31	555
自主防災訓練		8	459
避難訓練		75	7,721
防火教室		26	1,331
救命講習 ※		49	1,588
普通救命(AED)講習 ※		26	272
上級救命講習 ※		3	42
応急手当普及員講習 ※		実施なし	
署見学来庁		13	590
合 計		233	13,553

※ 救急講習会と重複

### 3 巡回広報・広報紙発行状況

巡回広報	一般火災予防広報	108回	245人
広報紙発行状況	広報ぎょうせいわたり	4回	68,000部
	防災安全協会会報	1回	300部

#### 4 町別の防火対象物数

(棟単位)

項目		町別	計	巨理町	山元町
合 計			1,158	773	385
1	イ	劇 場 等			
	ロ	公 会 堂 等	28	17	11
2	イ	キ ャ バ レ ー 等			
	ロ	遊 技 場 等	4	4	
	ハ	風 俗 営 業 等			
	ニ	個 室 ビ デ オ 店 等	1	1	
3	イ	料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店 等	17	11	6
4		店 舗 等	56	41	15
5	イ	旅 館 等	8	7	1
	ロ	共 同 住 宅	179	137	42
6	イ	病 院 等	35	21	14
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	20	14	6
	ハ	老 人 デ ィ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	34	22	12
	ニ	特 別 支 援 学 校 等	11	4	7
7		学 校	48	32	16
8		図 書 館 等	3	1	2
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等	1	1	
	ロ	公 衆 浴 場			
10		停 車 場	1	1	
11		神 社 ・ 寺 院 等	12	5	7
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	257	155	102
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等			
13	イ	自 動 車 車 庫 等	8	5	3
	ロ	飛 行 機 格 納 庫 等			
14		倉 庫	179	128	51
15		前各項に該当しない事業所	172	98	74
16	イ	特定用途を含む複合用途対象物	59	46	13
	ロ	前イ以外の複合用途対象物	25	22	3
17		文化財に指定された建造物			

## 5 中高層建築物の現況

(棟単位)

項目		階別	3 階	4 階	5 階
合 計			48	18	3
1	イ	劇 場 等			
	ロ	公 会 堂 等	1		
2	イ	キ ャ バ レ ー 等			
	ロ	遊 技 場 等			
	ハ	風 俗 営 業 等			
	ニ	個 室 ビ デ オ 店 等			
3	イ	料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店 等			
4		店 舗 等			
5	イ	旅 館 等			
	ロ	共 同 住 宅	14	9	1
6	イ	病 院 等	3	1	
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	1	1	
	ハ	老 人 デ ィ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等		1	
	ニ	特 別 支 援 学 校 等			
7		学 校	12	3	
8		図 書 館 等			1
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等			1
	ロ	公 衆 浴 場			
10		停 車 場			
11		神 社 ・ 寺 院 等			
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	3		
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等			
13	イ	自 動 車 車 庫 等			
	ロ	飛 行 機 格 納 庫 等			
14		倉 庫			
15		前各項に該当しない事業所	6	2	
16	イ	特定用途を含む複合用途対象物	6		
	ロ	前イ以外の複合用途対象物	2	1	
17		文化財に指定された建造物			

## 6 防火管理者選任状況

項目		区別	消防法第8条適用防火対象物	防火管理者選任防火対象物	消防計画届出防火対象物
合計			245	212	211
1	イ	劇場等			
	ロ	公会堂等	28	24	24
2	イ	キャバレー等			
	ロ	遊技場等	4	4	4
	ハ	風俗営業等			
	ニ	個室ビデオ店等	1	1	1
3	イ	料理店等			
	ロ	飲食店	16	15	13
4		店舗等	39	37	37
5	イ	旅館等	3	2	2
	ロ	共同住宅	4	4	4
6	イ	病院等	7	7	7
	ロ	老人短期入所施設等	14	14	14
	ハ	老人デイサービスセンター等	21	21	21
	ニ	特別支援学校等	5	5	5
7		学校	16	14	14
8		図書館等	2	2	2
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1	1	1
	ロ	公衆浴場			
10		停車場			
11		神社・寺院等	9	7	8
12	イ	工場・作業場	23	20	20
	ロ	映画スタジオ等			
13	イ	自動車車庫等			
	ロ	飛行機格納庫等			
14		倉庫	1		
15		前各項に該当しない事業所	22	15	15
16	イ	特定用途を含む複合用途対象物	26	17	18
	ロ	前イ以外の複合用途対象物	3	2	1
17		文化財に指定された建造物			

## 7 防火対象物査察実施件数

署 別		計		巨理消防署		山元分署	
項 目		査察件数・人員		査察件数	査察人員	査察件数	査察人員
		査察件数	査察人員	査察件数	査察人員	査察件数	査察人員
合 計		360	841	237	477	123	364
1	イ	劇 場 等					
	ロ	公 会 堂 等	21	45	13	26	8 19
2	イ	キ ャ バ レ ー 等					
	ロ	遊 技 場 等	7	14	7	14	
	ハ	風 俗 営 業 等					
	ニ	個 室 ビ デ オ 店 等	1	2	1	2	
3	イ	料 理 店 等					
	ロ	飲 食 店 等	10	25	5	11	5 14
4		店 舗 等	25	58	19	42	6 16
5	イ	旅 館 等	4	9	3	6	1 3
	ロ	共 同 住 宅	32	72	24	48	8 24
6	イ	病 院 等	12	25	9	18	3 7
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	12	28	8	16	4 12
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	20	54	8	18	12 36
	ニ	特 別 支 援 学 校 等	8	23	1	2	7 21
7		学 校	36	90	23	42	13 48
8		図 書 館 等	1	2	1	2	
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等	1	2	1	2	
	ロ	公 衆 浴 場					
10		停 車 場	1	2	1	2	
11		神 社 ・ 寺 院 等	11	30	3	6	8 24
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	91	205	68	137	23 68
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等					
13	イ	自 動 車 車 庫 等					
	ロ	飛 行 機 格 納 庫 等					
14		倉 庫	18	43	10	21	8 22
15		前各項に該当しない事業所	37	84	24	46	13 38
16	イ	特定用途を含む複合用途対象物	7	17	4	8	3 9
	ロ	前イ以外の複合用途対象物	5	11	4	8	1 3
17		文化財に指定された建造物					

## 8 危険物事務取扱状況

区分		月別												計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
許可申請	製造所	設置													
		変更													
	貯蔵所	設置			1			2		1	1	1			6
		変更				1					1	1	1		4
	取扱所	設置									1	1			2
		変更	1				1	2	1		1			1	7
完成検査申請	製造所														
	貯蔵所			2			2		2		1	1	1	9	
	取扱所	1		1	1	1	2	1		1		1	1	10	
水張・水圧検査申請													1	1	
仮使用承認申請							2	1		1		1	1	6	
仮貯蔵・仮取扱承認申請				1										1	
計		2		5	2	2	10	3	3	5	4	4	6	46	

## 9 危険物施設貯蔵取扱数量状況

(単位：ℓ、第五類はkg)

製造所等の区分	種類	第四類				第五類	施設数	
		アルコール類	第1石油類	第2石油類	第3石油類	第4石油類		有機過酸化
合計		3,310	670,862	1,894,806	1,067,340	163,957	250	179
製造所								
屋内貯蔵所		3,300	27,686	11,425	93,657	11,447		21
屋外タンク貯蔵所				253,700	264,300	144,000		27
屋内タンク貯蔵所								
地下タンク貯蔵所				258,000	345,100			25
簡易タンク貯蔵所								
移動タンク貯蔵所			66,000	224,730	75,350			51
屋外貯蔵所				33,400	84,600			6
給油取扱所			576,976	860,776	108,000	2,860		22
第一種販売取扱所				2,400				1
第二種販売取扱所								
一般取扱所		10	200	250,375	96,333	5,650	250	26



## 10 町別の危険物施設設置状況

区分 町別	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合
													計
亘理町		15	22		15		23	3	15	1		16	110
山元町		6	5		10		28	3	7			10	69
合計		21	27		25		51	6	22	1		26	179

## 11 危険物施設立入検査実施件数

区分 町別	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合
													計
立入検査 対象施設数		21	27		25		51	6	22	1		26	179
立入検査 実施数		8	12		12		43	2	6			9	92

## 12 液化石油ガス販売施設状況

計	亘理町				山元町	
	亘理	荒浜	吉田	逢隈	山下	坂元
18	4	2	1	5	5	1

## 13 月別の建築確認申請処理状況

工事別	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
新築	13	24	8	9	11	11	17	22	27	19	28	43	232
増築	1												1
改築													
移転													
用途変更			2										2
その他													

## 14 年別の建築確認申請処理状況

町別 \ 年別	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
巨理町	48	35	48	47	126	128	112
山元町	32	21	33	43	95	95	123
合計	80	56	81	90	221	223	235

## 15 町別の建築同意件数

町別 \ 工事別	合計	新築	増築	改築	移転	用途変更	その他
巨理町	112	109	1			2	
山元町	123	123					
合計	235	232	1			2	

## 16 各種届出処理状況

項目 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
消防用設備等 着工届出	6	2	8	1	3	1	2	2	4	4	5	13	51
消防用設備等 設置届出	2	1	6		7	2	6	1	4	3	3	6	41
防火対象物 使用開始届出	6	9	11	6	2	9	9	5	11	4	6	1	79
消防用設備等 点検報告	16	22	59	22	20	21	18	18	26	11	19	8	260
消防計画書届出	5	6	5	5	9	7	4	4	8	9	2	6	70
防火管理者 選任・解任届出	4	7	4	4	10	7	2	4	8	9	3	5	67
炉・ヒートポンプ・ ボイラー設置届出		2		24		1			2	2	1	1	33
水素ガスを充填 する気球の届出													
煙火打上げ・ 仕掛け届出	3		1			1	12	3		1		2	23
燃料電池発電 ・発電・変電・ 蓄電池設置届出	2	3		1	1	6		2	1	1		2	19
少量危険物・ 指定可燃物届出		4	1	23	4	1	6	2	2	1	1	5	50
保安監督者 選任・解任届出			2	1				1	1	2	1		8
圧縮アセチレン ガス等の届出	4	2	3		2	2	2	3		3	3	1	25
火煙発生届出	19	12	100	80	8	6	5	4	10	18	36	18	316
道路工事届出	10	11	13	11	10	17	22	11	22	12	10	9	158
火薬類取締り 関係届出					1	4	6				1		12
防火対象物 定期点検報告	1	1	1	3	4	1			5	3		1	20

## 17 幼年消防クラブ加入状況

(平成26年4月1日現在)

町別	区分	クラブ設置数	クラブ員数(人)
	計	10	528
	巨理町	6	312
	山元町	4	216

## 18 婦人防火クラブ加入状況

(平成26年4月1日現在)

地区別	区分	クラブ数	会員数(人)
	計	76	11,187
巨理町	巨理	24	3,873
	荒浜	3	222
	吉田	15	1,575
	逢隈	15	2,914
山元町	山下	12	1,867
	坂元	7	736

※クラブ数は、平成26年4月1日現在において活動しているクラブの数

## 19 巨理地区防災安全協会設置状況

(平成26年4月1日現在)

名称	設立年月日	会員数
巨理地区防災安全協会	平成10年4月23日	224名



平成26年版消防年報

---

平成27年4月発行

編集・発行 巨理地区行政事務組合消防本部

〒989-2351

宮城県巨理郡巨理町字祝田34番地2

電話 (0223) 34-1155

34-1156

FAX 34-7758

---